

菊池郡市Aが2連覇、3度目の優勝

＝第11回国体記念県会長旗争奪剣道大会＝

本大会は10月14日(日)、各加盟団体から21チームが参加した大矢野総合体育館で開催された。本大会は一般通手層の試合は3分間・1本勝負で行われた。小学試合は予選、決勝は菊池郡市A・B両チームによる同士の対決となった。この試合も代表選となり、菊池郡市Aの坂田選手が長い延長戦の末渡邊選手を制し、2連覇・3度目の優勝を飾った。

【念願の連覇を達成！】
監督 松岡千利
昨年はAチームが優勝、Bチームが3位という好成績を取ることができました。今年も3回の合同稽古を行い「連覇とA・Bで決勝を」という、さらに高い目標を掲げて大会に臨みました。

菊池郡市Aチームは、相手が菊池郡市Bチーム。目標としていた悲願のA・Bでの決勝戦が実現しました。そして決勝でもなんと代表戦に。こゝでも坂田選手が出場、相手は国体少年女子のチームメイト渡邊選手。20



【2連覇の菊池郡市Aチーム】

に臨みました。選手は、相馬紀香(大津小)岩根尚紀(旭志小)古田愛(泗水小)甲斐誠志郎(旭志中)坂田夏穂(菊池女子高)井柄光博(鎮西高)内田舞(会社員)北田正武(武蔵丘中)内田智久(会社員)原川博光(必由館高)という最高の布陣。いざ「出陣！」予選では玉名市、宇土市に勝利し決勝トーナメント1回戦、強豪熊本市との対戦は一進一退の攻防、しかし後半でリードを許し迎えた大将戦。引分でもチームは負けという絶体絶命のピンチに原川選手が目覚めるような見事な逆胴が決まり代表戦へ。こゝで県高校総体個人チャンピオンの坂田選手がコテを決めて逆転の勝利。この一戦が最大のヤマ場でした。準決勝は人吉球磨に勝利し決勝へ。対戦相手は菊池郡市Bチーム。目標としていた悲願のA・Bでの決勝戦が実現しました。そして決勝でもなんと代表戦に。こゝでも坂田選手が出場、相手は国体少年女子のチームメイト渡邊選手。20

分を超える激戦の末、坂田選手のメンが決まり最大の目標としていた連覇を達成することができました。全勝賞の内田舞選手をはじめ選手全員の勝利に対する強い執念を感じさせられました。応援いただいた皆様から感謝を申し上げ、優勝監督からの御礼とさせていただきます。

【悔しい金メダル】
先鋒 相馬紀香(大津小)
まず、今大会に、菊池郡市Aチームとして参加させていただいた事を栄光に思っています。そして、優勝できた事を大変うれしく思います。自分の一生の宝物です。

【剣道の素晴らしさを実感】
大将 坂田夏穂(菊池女子高)
憧れの先輩方、錚々たる顔ぶれのこのチームの一員として試合ができる喜びと緊張で挑んだ会長旗。優勝が決まった時、私の緊張は溢れんばかりの喜びになりました。世代を越えチーム一丸となり互いの勝負を真剣に応援し、先輩方の卓越した技や氣迫を間近で見ることができたこと、同僚と

【男子の部】
初段 菊池南中 古田智也
この大会に出場できた事とても嬉しく思います。今大会で自分が優勝することが出来たのは、周りの方々の支えや先生方のご指導のおかげだと思います。今回の優勝から自分は周りの応援の心強さを学びました。特に、チームメイトの応援はとても力になりました。だから僕はこのチームの仲間と中体連優勝を目指して毎日の練習を頑張っています。

【二段】
鎮西高 上原裕二郎
この大会に初めての参加で優勝することができました。私は宮崎県出身で現在鎮西高で文武両道を目指して修行しています。小さい頃から熊本の剣道は強いという印象があり、何故あんなに強い剣道家が次から次に生まれてくるのか不思議に思っていました。私なりにその理由が理解できた

【四段】
九州学院講 梅二司
本大会は、今年より菊池市での開催となりました。関係各位の皆様におかれましては、お忙しい中にも拘わらず、大会成功にご尽力されておられます。ご存じの通りこの大会は、職業年齢に関係なく、様々な方と剣を交える事ができるという魅力があります。ですから私自身毎年参加させて頂き、貴重な体験ができる機会だと考えております。来年以降も、この気持ちで忘れる事のないように日々稽古に励み生活共々精進して参りたい所存です。

【女子の部】
初段 西合志南中 上田衣枝
私は、初めてこの段別選手権大会初段の部に出場して優勝することができました。他の大会と異なり、大人も学生もたくさん参加がある中で、いつもとは違う緊張感を感じました。今後はさらさら向かって頑張っていきたいと思っております。

【三段以上】
阿蘇高 渡邊タイ
私は、今回三段の部で優勝することができ、とてもうれしく思っています。高校最後の大会だったので、絶対優勝したいという気持ちで試合に臨みました。そうしたところ優勝することができたので、本当にうれしかったです。応援していただきありがとうございました。

【五段以上】
熊本県警 小川維斗
初めに第46回段別選手権五段以上の部において、優勝できました。菊池市剣道連盟の会長を始め日頃より稽古をつけていただいているスト8進出者は、平成23年2月13、14日に佐賀県で行われる第27回九州高等学校選抜剣道大会に出場する。男子・女子ともに部員数が減少している中、昨年度からメンバー不足についても参加を認めている関係で、参加実数は変わっていない。しかしながら、男子で予選会から7人制を実施しているのは本県のみであり、今後は5人制の方向へ移行していき、時期が来るとは思えない。

剣道による人づくり

八代市剣道連盟 会長 増田 國夫



少年剣道大会等における子ども達の姿は実に立派で素晴らしい。その姿の中に各学校、各クラブの指導者の顔が浮かんで

少年剣道大会等における子ども達の姿は実に立派で素晴らしい。その姿の中に各学校、各クラブの指導者の顔が浮かんで

整列・正座時の落ち着いた姿勢、態度、目の輝き、剣道具の着装、所作・動作、試合時の気合い、態度は一朝一夕に身に付くものではない。

剣道の理念には「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」と明記され、剣道修練の心構えには「自己形成と社会形成が挙げられている。一方、教育基本法の教

育の目的には「人格の完成と国家社会の有為の形成者の育成」が謳われており、剣道の理念と根本において一致している。教育は本来指導者の

我慢力、集中力、コミュニケーション力、感謝の気持ち等の豊かな心を自然な形で培える。ここに人づくりとしての剣道の凄さ、価値がある。

本年度は、男子団体(38チーム)女子団体(24チーム)男子個人(183名)女子個人(109名)の参加があり、菊池市総合体育館で11月13日(男女団体戦)14日(男女個人戦)が行われた。

男子団体戦は、接戦が続いたが、九州学院が逆転で優勝した。男女ともに、団体戦の上位4チームと個人戦ベ

本大会で活躍した選手たちが、現在の全日本の剣道を背負っている現実もあり、今後、本大会の更なる充実を図っていきたくと考えている。

優勝	2位
男子団体 九州学院高	文徳高
女子団体 八代百合高	必由館高
男子個人 上原裕二郎(鎮西高)	坂口克哉(鎮西高)
女子個人 垣田マキ(阿蘇高)	古田薫(阿蘇高)

3位	3位
男子団体 鎮西高	阿蘇高
女子団体 菊池女子高	阿蘇高
男子ベスト8 坂本雄造(八代東高) 緒方大地(鹿本高) 谷口和真(文徳高)	是澤龍志(東海二高) 桑野俊彦(東海二高) 出口憂樹(阿蘇高)
女子ベスト8 川上ゆき(菊池女子高) 堤鈴花(阿蘇高) 光田衣織(熊本商高)	古家麻貴(必由館高) 丸山春佳(百合高) 谷山莉保(阿蘇高)

武蔵 武道具を代表する信頼のブランド 武蔵 武道具工業株式会社

オガタ武道具工業株式会社 TEL:0966-22-2026 FAX:0966-42-3785

オガタ武道具工業株式会社 TEL:0966-22-2026 FAX:0966-42-3785